

令和4年度シラバス（ 外国語 ）

学番56 新潟県立八海高等学校

教科（科目）	外国語（英語表現Ⅱ）	単位数	3	学年（コース）	3学年 普通科（普通コース）
使用教科書	New One World Expression II Revised Edition				
副教材等	ベーシックジュニア英和辞典 授業プリント				

1 学習目標

1. 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。
 2. 主題を決め、様々な種類の文章を書く。
 3. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、聞いて質問したり意見を述べたりする。

2 指導の重点

発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し、実際に活用する。

3 学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法	
4	Unit 1 Lesson 1, 2	教科書 補助プリント	現在形, 過去形, 進行形, 完了形, 完了進行形	友達に質問をして情報を集め、その人を紹介する文を書く。自分自身について積極的に友達に伝える。	8	定期考査 提出物 授業の取り組み パフォーマンス テスト スピーチ	
5	Lesson 3, 4 Lesson 5, 6		未来表現, 助動詞, 助動詞+完了形, had better, used to	予定されている事柄について、伝える文を書く。自分や自分の家族が過去に習慣的にやってきたことについて友達に伝える。	9		
6	Lesson 7, 8 Lesson 9, 10		受動態, 動詞の目的語になる動名詞と to 不定詞 使役動詞+0+原形不定詞, 分詞, 副詞（句・節）	身の回りで行われていること、話題になっていることなどについて、会話をする。自分の趣味や好きなことなどについて友達に伝えたり、尋ねたりする。 子どもの頃、自分の周りの人にしてもらったことを説明する。これからの計画について、友達と会話する。	12		
7, 8	Lesson 11, 12 Lesson 13 Lesson 14		否定, 疑問詞+to不定詞, 疑問詞節 形式主語, 形式目的語, 原級や比較級を用いて表す最上級, 絶対比較級	自分たちの修学旅行について書いて、発表する。外国人観光客に道案内をしたり、観光スポットについて説明する。 日本の伝統文化を海外の友達に紹介する。自分が最も大切にしていることについて書き、発表する。 自分の考えや感想を理由をつけて発表する。	18		
9	Lesson 15 Lesson 16		関係代名詞, 関係副詞, 複合関係副詞 仮定法過去, 仮定法過去完了 強調構文, 倒置構文, 無生物主語構文	「夢の修学旅行」について、会話をしたり、自分の提案をまとめて発表する。 自分の現在や過去の時点での願望を述べたり、相手の願望を尋ねる。 自分の好きな歴史上の人物について調べて、紹介する。	9		
10	Unit 2 Lesson 1 Lesson 2, 3 Lesson 4		依頼・許可・断り 助言・忠告、苦情・謝罪 原因・理由・根拠	理由を添えて、相手に何かを依頼する。 指定された状況で、助言・忠告を行う。図書館の開館時間について苦情のメールを生徒会長に送る。 自分が選んだインターンシップについて、その場所を選んだ理由を添えて説明する。	11		
11	Lesson 5, 6 Lesson 7, 8		目的、祝福・喜び・感謝 希望・期待、予定・意図	自分はなぜ英語を勉強するのか、その目的を説明する。テニス大会で優勝した友達にお祝いのメールを送る。 自分の将来の夢とその夢の実現するためにすべきことを書いてまとめる。自分の学校の来月の行事予定と自分自身の計画を書いてまとめる。	12		
12	Lesson 9, 10 Lesson 11 Lesson 12		推察・確信、主張・賛成・反対 場所・方向を示す 数量・頻度・割合	天気予報を英語で表現する。動物実験に対する、自分の考えを書いてまとめる。 自分が住んでいる町の主要な建物がどこにあるか、説明する。 自分が普段行っている運動や活動について、頻度や時間をそえて説明する。	9		
1	Lesson 13, 14 Lesson 15 Unit 3 Lesson 1		比較・対照、程度・結果 列挙・時間的順序 スピーチ	外国と比較して、日本の特徴を書いてまとめる。自分のこれまでの英語学習歴とその成果について、書いてまとめる。 スマートフォンで自分が撮った写真を友達に送る方法を順序立てて説明する。 自分で選んだテーマについてスピーチを行う。	8		
2							
3							

計 96 時間（55分授業）

4 課題・提出物

随時出される課題の提出
 授業で使用するプリントの提出

5 評価規準と評価方法

評価は次の3観点から行います。		
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	英語やその運用についての知識を身につけるとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
授業の取り組み、提出物、考査等で総合的に評価します。		

6 担当者からの一言

相手に適切に伝えるために、各文法事項の定着を図り、学んだ内容を生かしてコミュニケーションを図れることを目標とする。